

※文庫一覧

(昭和56年5月20日現在)

| 品目 | 数量 | 品目 | 数量 |
|-------------------------------|----|--------------------------|----|
| 友愛の四季(あまロータリークラブ) 田中清隆著 | 1 | 青少年交換 R.I | 1 |
| ロータリー論説77集(伊丹ロータリークラブ) 中村正己 | 1 | ホスト・ファミリーの手引き | 1 |
| ロータリー美術館 ロータリーの友編集事務所 | 1 | 世界理解を促進するため一人として何ができるか | 20 |
| ロータリーの理想と友愛 ポール・P・ハリス 米山海吉訳 | 1 | 交換学生のための指針 | 1 |
| ロータリー・モザイク ハロルド・T・トーマス 松本兼二郎訳 | 1 | ロータリーの綱領・額入用 | 1 |
| ロータリークラブ その理論と実態と批判 小堀憲助著 | 3 | 職業による奉仕 | 1 |
| おゝロータリアン 職業奉仕とは 金沢北R.C編集 | 1 | 友情への旅券 | 1 |
| おゝロータリアン ロータリーとは 金沢北R.C編集 | 1 | インターアクト・クラブ定款・細則 | 1 |
| 未来のロータリー 尼ヶ崎北R.C | 1 | インターアクト・クラブ役員必携 | 1 |
| 小樽ロータリークラブ40年史 | 1 | 活動するインターアクト | 10 |
| ポール・ハリスの声(カセットテープ) ロータリーの友事務所 | 1 | インターアクトに関する方針声明書 | 1 |
| 1978年手続要覧 国際ロータリー | 1 | インターアクトの提唱 | 1 |
| あなたの地域社会を知れ R.I | 1 | インターアクト指導者講習会資料 | 1 |
| あなたの若人を知れ | 1 | ローターアクトとは | 10 |
| 事例と取り組みましょ | 1 | ローターアクトの提唱 | 1 |
| 委員会資料一揃 | 1 | ローターアクト指導者講習会資料 | 1 |
| 出席規定 | 1 | 四つのテスト - ポケット型 | 50 |
| 目的をもった討議 | 1 | 四つのテスト - 額入用 | 1 |
| 奉仕こそわかつとめ | 1 | 四つのテスト - デスク・フラー | 1 |
| 手続要覧 | 1 | ロータリーに通じる方途 | 1 |
| 実践できる広報 | 1 | ロータリーの大要 | 1 |
| ロータリークラブ会員増強の指針 | 1 | 奉仕の冒険 | 1 |
| ロータリー入門 | 10 | 国際ロータリー職業分類指針 | 1 |
| よりよいウィークリー・プログラム | 1 | 奉仕こそわかつとめ 社会奉仕 | 1 |
| 世界社会奉仕 | 1 | 奉仕こそわかつとめ 職業奉仕 | 1 |
| 平和への七つの道 | 1 | 職業分類の概要 | 1 |
| ロータリーの手ほどき | 10 | ロータリー日本50年史 50年史編集委員会 | 1 |
| 四つのテストの適用 | 1 | 函館北R.C会報 1964~1980 年度毎台本 | 各1 |

◎出席報告

| 会員数 | 66名 | 出席率 | 函館北 (5/6) | 100.00% |
|--------|-----|-----|--------------|---------|
| 出席 | 53名 | | 函館東 (4/21) | 96.60% |
| 欠席 | 13名 | | 函館 (4/23) | 99.15% |
| 他クラブ出席 | 13名 | | 函館五稜郭 (4/24) | 100.00% |
| 出席合計 | 66名 | | 亀田 (4/20) | 82.50% |
| 出席除外者 | 0名 | | | |

次回例会日 5月27日

プログラム “最近の自動車業界について”
函館日産自動車㈱代表取締役 小川 清太氏



第251地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

TAKE TIME TO SERVE
時間を捧げよう 奉仕のために
(R.I. 会長 ロルフ J. クレーリッヒ)

第850回例会

1980~1981 第46号 1981・5・27



椎谷 龍彦 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話 (0138) 23-3870

本日のプログラム

“最近の自動車業界について”
函館日産自動車㈱代表取締役 小川 清太氏

第849回例会記録

- ◎司会 角谷 隆一 会長
- ◎斉唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 函館R.C. 月館 桂吉他8名 函館東R.C. 鎌田 剛他
五稜郭R.C. 石尾 広道君他2名
- ◎ゲスト 函館市交通局長 平野 鶴男氏

●会長報告 角谷 隆一会長

奨学金について報告致します。去る15日奨学生のお母さんに来て頂き合同事務所に於て、市の中央福祉事務所の高橋児童家庭課長さんに立合して頂き、私から奨学金の主旨を説明した後に、青柳委員長から第1回目、4ヶ月分の奨学金をお渡し致しました。

●親睦活動委員会 南 宏国委員長

ニコニコBOX投入のお知らせ

南 会員……第3回親睦ゴルフ大会ご協力ありがとうございます。
伊藤 会員……ニコニコBOXに協力して
中野 会員……なんとなく
中川 会員……誕生祝をいただきまして
飯田 会員……ホームクラブ欠席がちのお詫び
西川 会員……ゴルフ大会楽しかったです。
北村 会員……再入会よろしくお願ひします。
小林 会員……誕生祝をいただきまして
松橋 会員……ゴルフ大会にて優勝しました。

5月17日(日)に本年度最後の当クラブのゴルフ大会も無事終了いたしました。18名の参加で楽しくプレーが出来た事を感謝いたします。御協力有難うございました。優勝=松橋 博会員、準優勝=広瀬芳男会員、1位=吉井政嗣会員、2位=関本 宏会員、3位=高橋仁志会員、4位=加藤久春会員、5位=西巻秀樹会員

●卓 話 “函館市交通事業の現況について”

函館市交通局長 平野 鶴男氏

市電・市バスの昭和55年度の概況は、電車事業においては、16.2軒の路線を、54両の電車で、バス事業においては、80.5軒の路線を135両のバスで運行し、乗客数は、1日当り電車42231人、バス51186人で、合計約9万3千人の方々にご利用いただいております。最盛期に比較してみますと、走行料では80%を維持しておりましたが、乗客数では、半分程となっております。

乗客数が大幅に減少したため、内部努力……たとえば、職員数は最多時の40%に減員など……につとめてきましたが、現在では企業を維持していく上で、市の一般会計からの補助が不可欠となり、6~7億の資金が、交通事業に繰り入れられて、経常収支の赤字を埋めている現状であります。

では何故このような状況になったのでしょうか。一口でいえば所得の向上と自家用車の増加による影響が大きいといえます。昭和41年頃と比較してみると自家用乗用車の数は6倍以上となっております。そして市街地の拡大につれて、通勤、通学の自家用自動車等の利用は全通勤、通学者の38%にも及び、利用交通手段と

して、第一位になっていることが、55年10月に行われた国勢調査の結果わかりました。

現在はマイカー時代といわれております。確かにその通りです。今の私達の生活は、マイカーなしでは考えられないといっても過言ではないと思います。世帯の70%に迄普及し、更に増加しつつある現状を振り返ってみると正に車中心の生活であるといえましょう。しかし、自家用自動車がこのままふえつづけることが私達の社会にどう影響を及ぼしてくるかを、この辺で考えてみる必要があるのではないのでしょうか。さき程も申し上げましたとおり、自家用自動車の急激な増加はまず電車・バス利用者を大幅に減少させ、そして社会に交通公害をおこし、人身事故をも多発させ、一方では公共交通機関がありながらエネルギーの浪費につながる個人的乗り物としてのマイカー利用回数を増やしてきました。

このまま推移すれば、いずれは公共交通機関は経営できなくなります。しかし現在通勤・通学に電車・バスを利用しておられる4万人の方が、すべて自動車に切替えることができるのでしょうか。市内での自家用乗用車の平均乗員は1.4人ですので、一車線1時間に1,000台(3.6秒に1台)の交通量として計算してみると、4万人では約30車線が必要となり、一車線3メートルとすれば片側90メートルの道路を新たに作らねばなりません。住居地と業務地との間にこんな道路を新たに作ることは全く不可能といってもよいではないでしょうか。そうなると、大量輸送機関としての電車・バスは都市にとっては、将来とも必要不可欠のものであるといえると思います。下水道や道路などと共に都市施設の一つであるという認識の上に立って考えなければならない理由がここにあります。また、電車・バスの利用客にはお年寄りや子供、そして婦人の方も多く、自動車をもつことのできないこれらの方々に対する社会福祉的な面も配慮しなければなりません。

それではどうしても残して行かなければならないとすれば、赤字をできるだけ少くし経営を安定化していくことがまず必要であります。国や道の援助の問題もあります。企業の内部合理化の問題もありますが、要するに市民に乗っていただくためには基本的にはどうしようもありません。そのために市電・市バスを利用することによるメリットをいくつかあげて見ますと、第一には、電車・バスは安全な乗物であることです。事故件数ではマイカーに対して約100分の1、死傷者数では76分の1となっております。特にマイカー通勤の多い20~30代の方の事故率は全体の80%近くにも及び、企業としても大きな問題として考える必要があります。三番目は、マイカーをやめると現在ある道路がより効果的に使えることです。電車・バスは道路一車線ではマイカーの約10倍の人を運ぶことができ、渋滞も少なくなります。四番目は、市街地の中で交通混雑のひどい地区では電車の方が早い場合があります。冬などは特に電車の方が早く走れる状況が多くなってきました。五番目は、電車・バスの方が経済的であるということです。マイカーは月3万円位の費用がどうしてもかかります。サラリーマンの方は電車・バス利用の場合、殆んどが事業主負担で個人には負担がかかりません。特に若い方々は給料

も少くマイカーのための費用が実収入の20～30%にも及んでいます。生活が苦しくなるのは当然ともいえましょ。う。

第六番目として、電車・バスを利用しての出退勤の際の歩行で、マイカー利用にありがちな脚力の不足をある程度は防ぐことができます。

以上、いくつかの電車・バス利用のメリットをのべてみましたが、市電・市バス全体では、現在でも1日8万人の方が更にご利用できる余裕があります。経常収支の赤字は現在3億円ありますが、さき程申し上げましたマイカー通勤者5万人の方が、月4回程電車・バスを利用することにより黒字とすることができます。また、5万人のうちの10%の方、すなわち5,000の方がマイカーをやめて市電・市バスをご利用していただいても同じように黒字とすることができます。これは、マイカー通勤者10人のうち1人だけが毎日利用するというので、決して不可能なことではないと存じます。黒字になれば、6～7億の資金が更に市全体で投資できることにもつながるわけで、一交通局としてばかりでなく函館市全体にとってもこのことは非常に意義のあることでもありますので、市民各位のより一層の電車・バスのご利用を心から願います。

◎出席報告

| | | | | |
|--------|-----|-------------|--------------|---------|
| 会 員 数 | 66名 | 出 席 率 | 函 館 北 (5/13) | 100.00% |
| 出 席 | 41名 | | 函 館 東 (4/28) | 92.04% |
| 欠 席 | 25名 | | 函 館 (4/30) | 98.33% |
| 他クラブ出席 | 25名 | | 函館五稜郭 (5/1) | 100.00% |
| 出席合計 | 66名 | | 亀 田 (4/27) | 75.00% |
| 出席除外者 | 0名 | | | |

次回例会日 6月3日

プログラム “早朝例会”
8時 函館国際ホテル



第251地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

TAKE TIME TO SERVE
時間を捧げよう 奉仕のために
(R.I. 会長 ロルフ J. クレーリッヒ)

第851回例会

1980～1981 第47号 1981・6・3



椎谷龍彦会員

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話 (0138) 23-3870

本日のプログラム

“早朝例会” 8時 函館国際ホテル

第850回例会記録

- ◎司 会 角谷 隆一 会長
- ◎斉 唱 手に手つないで
- ◎ピンター 札幌西R.C. 佐々 保雄君 函館R.C. 相馬 哲平君他6名
五稜郭R.C. 松浦 百秋君 亀田R.C. 掃山 一弥君
- ◎ゲ ス ト 函館日産自動車㈱代表取締役 小川 清太氏